

差別と偏見が社会を壊す

～外国人労働者・ヘイトスピーチ・沖縄・韓国の「現場」取材して～

講師 安田 浩一さん (ノンフィクションライター)

日時 2020年2月7日 (金)
1時30分～3時30分 (開場1時)

会場 日本教育会館 8階 807号室

地下鉄半蔵門線・都営三田線・新宿線「神保町」下車A1出口徒歩5分



安田浩一さん 紹介

1964年生まれ。週刊誌記者を経て、2001年よりフリー。日本社会の様々な問題に現場取材を通して鋭く迫る。著書に「ルポ差別と貧困の外国人労働者」(光文社新書)「沖縄の新聞は本当に『偏向』しているのか」(朝日新聞出版)など多数。2012年「ネットと愛国」(講談社)で講談社ノンフィクション賞受賞。2015年「G2」(講談社)掲載記事「外国人隷属労働者」で大宅壮一ノンフィクション賞(雑誌部門)を受賞。「子どもと女性の人権を考える東京の会(人権東京の会)」でも講演し、好評を博す。

ヘイトスピーチや芸術展への介入、ネットでの政治発言への炎上など、表現の自由をおびやかす空気が社会を覆っています。その底には差別と排除の論理があり、私達に異論を許さず同調を強いていこうとしています。講師の安田浩一さんは、長年外国人労働者やヘイトスピーチの問題に取り組んでこられました。差別や偏見に抗していくためにも、現場取材に基づくお話を伺い学んでいきたいと思っています。ぜひ、ご参加ください。

